

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第90号

平成 29 年 5 月 31 日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：045-263-4470

子ども達の瞳輝く科学体験活動

今年度の事業「子ども科学探検隊」の開講式が、5月 21 日(日)に県立青少年センターで行われました。3つのコースに約 40 名の“隊員たち(小学生)”が今後それぞれ6ヶ所の施設等を訪問します。隊員たちの好奇心や知識にはいつも驚かされます。

さて、平成 28・29 年度の協議会役員(敬称略)は右のとおりです(異動により変更があります)。引き続き今年度もよろしく願いたします。

役職	会員名	役員名(職:氏名)
会長	神奈川県立青少年センター	館長: 堀江 信夫
副会長	東芝未来科学館	館長: 岩切 貴乃
副会長	神奈川工科大学	企画入学担当部長: 石田 裕昭
理事	おもしろ科学たんけん工房	代表理事: 安田 光一
理事	神奈川県環境科学センター	所長: 小林 幸文
理事	神奈川県公立中学校教育研究会理科部会	理科部会会長: 柿沼 隆一
理事	神奈川県政策局政策部総合政策課	課長: 杉山 正行
理事	株式会社学研ホールディングス学研教育総合研究所	顧問: 安威 誠
理事	株式会社テレビ神奈川	宮業推進室長 兼 事業推進部長: 遊馬 秀樹
理事	横浜市立野毛山動物園	園長: 鈴木 浩

新会長あいさつ

県立青少年センター館長 堀江 信夫

会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日ごろから県立青少年センター事業へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年度より館長となりました堀江信夫と申します。どうぞよろしく願いたします。



神奈川県青少年科学体験活動推進協議会は、「理科やものづくりが好きな子ども達を支援し、科学体験活動の啓発や普及を図る」ことを目的として 51 団体が集まって、平成 18 年に発足しました。現在では、科学館、動物園、企業、教育機関、研究機関、行政機関、報道機関、科学 NPO など 92 団体の加盟によりご支援をいただきながら事業展開をしています。このような組織は他県には見当たらず、「神奈川県の宝」であると感じています。

今年度も、訪問型の「子ども科学探検隊」「中高生サイエンスキャリアプログラム」、参加型の「科学の祭典」「子どもサイエンスフェ

スティバル」「ロボフェスタ」を計画しています。昨年度は、多くの会員の皆様に出展等のご協力をいただき、延べ 4000 名の小中高生が参加しました。特に「子どもサイエンスフェスティバル」は、「東京応化科学技術振興財団」と「国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金」から運営費を助成していただき、逗子、相模原、藤沢、秦野の 4 地区で開催することができました。この紙面を借りて改めて御礼申し上げます。子どもたちの歓声が響き渡ることも多く、満足度調査(アンケート調査)でも、いずれも 90% 以上の満足度が得られています。

当センターは、昭和 37 年に開館して以来、今年で創立 55 周年を迎えます。今後も子ども達を中心に、ものづくりの楽しさや科学のすばらしさを体験していただき、心身・生活・創造力の豊かさにつなげられるよう、協議会の活動をさらに充実してまいりたいと考えます。参加者の中から、未来の技術者、研究者や理解者が育ってくれることを願っています。

事務局からは、協議会ニュースを発行し事業の様子をご報告させていただきます。引き続き、会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

期待ふくらむ「子ども科学探検隊」初日の様子

午前中の開講式の後、午後から3つのコースに分かれて各施設を“探検”しました。各コースの様子を紹介します。また、今後の訪問先は下の表のとおりです。会員の皆様の施設を訪問する際には、ご案内ご指導をよろしく申し上げます。

三菱みなとみらい技術館



球状のスクリーンに地球表面を投影することができる「ダジック・アース」を見ながら、オーロラ等について学ぶことができました。理科実験では液体窒素を使い、物体が低温でどのように変化するか体験することができました。館内自由見学では、環境・海洋・エネルギーに関して学ぶことができ、“隊員たち”も十分に楽しんでいました。

横浜市立 野毛山動物園



担当した方は、隊員たち(小学生)をサービス業のようにお客様扱いするのではなく、極めて教育的に対応してくれました。場に応じた行動も隊員たちは学びました。動物園の社会的な役割について説明を受けた後、キリン舎を見学させてもらったり、動物の餌の種類や加工の仕方について教えてもらったりしました。

日本郵船 氷川丸



船内探検では、一般来場者が立ち入れない区域(甲板、エンジンルーム、貨物室等)も案内していただきました。ボランティアスタッフによる当時の状況を踏まえた丁寧で詳しい説明に隊員、保護者とともに引率職員も聞き入ってしまいました。ロープワークでは、ほぼマンツーマンで指導していただき、3種類の結び方を学びました。

	月日	時間	場 所	地域
A コース	5/21(日)	午前	県立青少年センター(開講式)	横浜市
		午後	三菱みなとみらい技術館	横浜市
	6/17(土)	半日	横浜市立よこはま動物園ズーラシア	横浜市
	7/25(火)	1日	青山学院大学理工学部	相模原市
	7/30(日)	半日	神奈川工科大学	厚木市
	8/22(火)	半日	国立研究開発法人 海洋研究開発機構	横浜市
	9/17(日)	半日	神奈川県立生命の星・地球博物館	小田原市
B コース	5/21(日)	午前	県立青少年センター(開講式)	横浜市
		午後	横浜市立野毛山動物園	横浜市
	7/22(土)	半日	東芝未来科学館	川崎市
	8/2(水)	半日	水産研究・教育機構中央水産研究所	横浜市
	8/8(火)	半日	神奈川県環境科学センター	平塚市
	8/18(金)	1日	桐蔭横浜大学	横浜市
	10/14(土)	半日	伊勢原市立子ども科学館	伊勢原市
C コース	5/21(日)	午前	県立青少年センター(開講式)	横浜市
		午後	日本郵船氷川丸	横浜市
	6/25(日)	半日	はまぎん こども宇宙科学館	横浜市
	8/1(火)	半日	関東学院大学理工学部	横浜市
	8/15(火)	1日	平塚市博物館	平塚市
	8/23(水)	1日	産業能率大学	伊勢原市
	9/30(土)	半日	横浜市立金沢動物園	横浜市

いすゞ自動車株式会社が新会員に!

5月より「いすゞ自動車株式会社」様が協議会の会員となりました。皆様よろしく申し上げます。

また、神奈川県産業技術センターと神奈川科学技術アカデミーが統合し、「地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所」となりました。

現在の協議会の会員数は92団体です。

事務局から

事務局のある県立青少年センターは今年 55 周年を迎えました。今後ともよろしくお願いたします。科学部職員の異動に伴い平成 29 年度の協議会事務局のメンバーは次のようになりました。ご意見ご要望等がございましたら事務局までご連絡ください。

事務局長: 村上 聡(科学部長 兼 科学支援課長)

事務局員: 山田 幸一(副技幹)・宮城 泰文(技師)・高相 優奈(技師)

